

「入口」づくりから、さらに「深く伝える」役割へ
“行動化”へとつながる、工夫ある事業に取り組みます。

流域をはじめ都市部の人々と水源地域を結び、もってそれらの人々の公共利益に寄与することを目的として、吉野川・紀の川の源流部を拠点に、その自然的価値、文化的価値を大切にし、流域をはじめ都市部の人々にこれを伝え、共に考え、行動するため、体験学習・交流活動を通じて、広く啓発や環境教育に関する事業を行います。そして、これに必要な拠点施設や関連公共施設の維持管理・運営に関する事業を行い、源流域の自然環境保全活動に努めます。

本年度は設立から15年目を迎えます。これまでは「体験」「交流」を目的とし、“源流への入口”“環境問題への入口”を提案する役割を担ってきたといえます。今後はさらに深く伝える役割を発揮し、流域の観点での地域づくりや環境課題について“行動”を担う人づくりにつなげることを目指した事業に取り組みます。

～「目的・目標」設定において意識すべきキーワード（順不同）～

流域(圏) 協働

水循環基本計画

「つなげよう森里川海」

ESD(持続可能な社会の担い手づくりの環境教育)

ユネスコ・エコパーク

川上村「源流の日」

公益事業Ⅰ 環境学習・体験プログラムの提供にかかわる事業

1. 「吉野川源流－水源地の森」体験プログラムの提供

- ・定例水源地の森ツアー (3回)
- ・団体毎の受け入れ (随時)

2. 森づくり体験プログラムの提供

- ・源流学の森づくり (4回程度)
- ・関労かわかみの森活動等受け入れ (2回)

3. 体験学習を通じた環境教育の実施及び支援

- ・団体毎のエコツアー受け入れ (随時)
- ・学校教育団体支援 (随時)

4. 水源地域の環境保全にかかわる人材の育成

- ・源流人会の運営

公益事業Ⅱ 流域交流・啓発にかかわる事業

1. 水源地域の自然及び文化を介した交流行事の実施
 - ・ガイド協力による多様な主体との連携
2. 水源地の環境保全の普及啓発のための行事等の開催、印刷物等の刊行、
電子情報媒体の作成
 - ・流域連携・交流、啓発・PR (随時)
 - ・川上村環境基本計画推進業務
(役場・公共施設職員研修、村民の流域学習会等)
 - ・機関誌『ぼたり』刊行 (3回)
 - ・ホームページメンテナンス (通年)
 - ・森守募金キャンペーン (おはなしカーニバルと連携)
 - ・源流シンクタンクの運営 (適宜)

公益事業Ⅲ 源流域の自然や歴史の調査・研究にかかわる事業

1. 水源地域及び流域における参加型観察調査会の実施
 - ・吉野川紀の川しらべ隊 (3回)
 - ・旧白屋地区の定期観察と発信 (各季)
 - ・巨樹・古木調査フォローアップ (1回)
 - ・歴史関連講座 (1回)
2. 「吉野川源流－水源地の森」自然実態調査の実施
 - ・水源地の森自然実態調査 (通年 維管束植物希少種調査)
 - ・水源地の森下層植生調査 (4回)
3. 源流部における斜面崩壊地での対策実験及び経過観察の実施
 - ・芽吹きの砦プロジェクト (随時寄付金の活用)

公益事業Ⅳ 拠点公共施設の管理・運営にかかわる業務

1. 展示を通じて情報発信を行う施設の管理
 - ・森と水の源流館管理 (通年)
 - ・企画展 (2回)
2. 源流部での体験活動の拠点となる森とこれに附帯する施設の管理
 - ・水源地の森管理 (通年)
 - ・水源地の森交流施設管理 (通年)

収益事業Ⅰ ミュージアムショップ事業

- ・ミュージアムショップ事業 (通年)

収益事業Ⅱ 受託事業

- ・和歌山市民の森づくり (和歌山市)
- ・吉野川紀の川型流域連携モデルの具現化業務 (川上村) ほか